

# 農薬が効かない! 気持ち悪~い! イシクラゲを駆除

## コケそうじシリーズ

日本製 | 非農耕地専用

パネフリ  
PANEFRI



**STAGE 1** **休眠しているイシクラゲを目覚めさせる**  
乾燥してパリパリになっているイシクラゲはいわば冬眠状態であり、ほとんど生命活動を停止した状態です。このように活性が低いイシクラゲにコケそうじを散布しても効果は限定的なものとなります。乾燥状態のイシクラゲには、まず水を掛けて湿潤状態として活発に活動再開させます。イシクラゲは30分から1時間程度で緑色の湿潤状態に戻ります。



**STAGE 2** **コケそうじを散布する**  
希釈したコケそうじを噴霧器やじょうろを使って散布。イシクラゲ全体が十分に濡れる量をたっぷり散布します。イシクラゲそのものだけでなく、まわりの土壌も含めて面的に散布することがコツです。散布した後、24時間は雨が降らない日を選んでください。降雨があると効果が出ません。

**STAGE 3** **繰り返し散布を行う**  
最初の散布から2~3日後に、2回目の散布を行います。

**STAGE 4** **効果の確認を行う**  
最初の散布から1週間が経過した頃に効果の確認を行います。イシクラゲ全体が緑色をから褐色に変化していればコケそうじが効いています。褐変した部位は光合成能力をすでに失っており、そのまま放置していると自然に風化して土に戻っていきます(※)。緑の部分と褐色の部分が併存している場合は効果にムラが生じています。緑の部分に再散布を行ってください。  
※褐色に変化したイシクラゲが自然に消え去るまでには相当な時間が掛かります。

**STAGE 5** **清掃を行う**  
4の状態になっていれば、イシクラゲは地面から簡単に剥がれて掃除ができる状態です。早くきれいになりたい場合は、ホウキなどで掃き集めることが可能です。

